

2022年6月1日  
 一般社団法人日本かまぼこ協会  
 全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会  
 代表理事会長 下村全宏

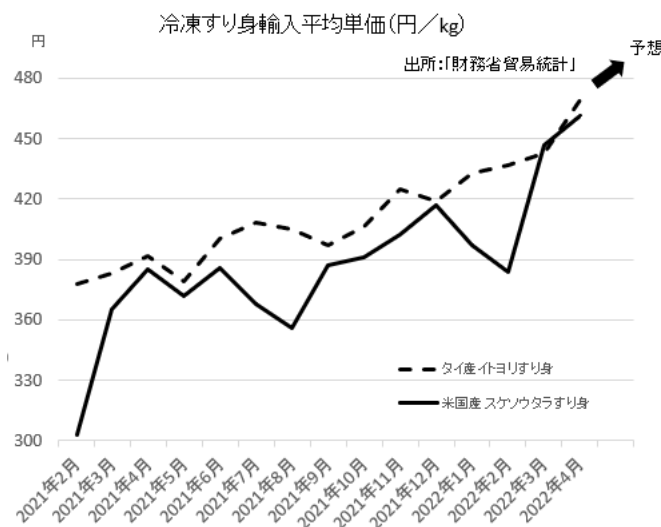
報道関係者各位：

魚肉練り製品 コスト高騰が止まず再値上げへ

蒲鉾やちくわなど魚肉練り製品のメーカーは、製造コストの高騰のため、昨年秋に値上げを発表し価格改定が進められています。しかし、現時点でも原材料費や物流費の急激な高騰が続く見通しです。原材料相場に加えて、世界的なコロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー価格等の高騰、20年ぶりの円安は、メーカーの経営を直撃しています。

このため、今年春の価格転嫁だけではコスト上昇をカバーできず、再度の値上げを検討せざるを得ない状況です。お客様に美味しい魚肉練り製品を提供して業界が健全に成長するには、製造コストの急上昇をいかに製品価格へ転嫁できるかが喫緊の課題です。

1. 主原料のスリミ価格が記録的高値



主原料の最大供給源である米国産スケソウダラのスリミは、その高騰に拍車がかかっています。今年4月の輸入平均単価は461円/kgと記録的な高値(出所:財務省貿易統計)。直近の半年間でkg当たり70円値上がり(比率で18%増)、1年間でkg当たり80円(比率で20%増)値上がりし、前例のない大きな上昇率。

高騰要因のひとつが、世界的なスリミ需要増大と反対に供給の減少です。スリミの原料魚である米国スケソウダラの漁獲可能量が、資源保護のために2022年は前年比で20%減となり(ベーリング海で約111万トン)、米国産スケソウダラのスリミの生産・供給は今後減少する見通し。この需給ギャップがスリミ価格の歴史的な高値を招いています。

ロシアのウクライナ侵攻に対する経済制裁も高値要因です。EC 諸国がスケソウダラ製品の輸入をロシアから米国へシフトし、その集中が米国産スケソウダラのスリミの価格上昇を後押し。

米国産スケソウダラのスリミの高騰につられて、他のスリミも急騰しています。アジア産スリミの代表格であるタイ産イトヨリのスリミは、前年に比べて 20%増で、一段と値上がり（輸入平均単価：2022 年 4 月 469 円/kg、2021 年 4 月 392 円/kg。財務省貿易統計）。

世界的にスリミの品薄感が強まっているため、今後も価格の高止まりが予想されます。日本国内の漁業資源が減少するなか、輸入に頼る我々メーカーは世界的なスリミ価格の高値に追随せざるを得ない状況です。

## 2. 大豆、食用油など副原材料も高騰

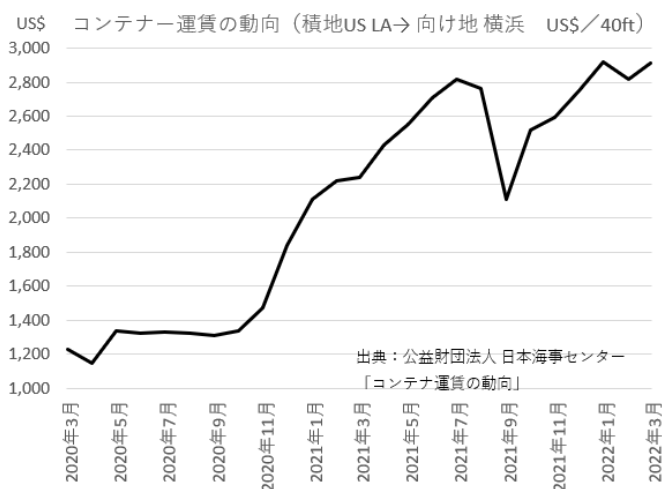


スリミ以外の副原材料費も上昇しています。副原料であり揚げ油の原料でもある大豆の輸入平均単価は、直近の 1 年間で 16%上昇（2022 年 3 月 77 千円/トン、2021 年 3 月 66 千円/トン、財務省貿易統計）。

でん粉のメーカー仕入れ価格は 2021 年に大幅に上がり、2022 年も上昇がうかがえます（農畜産業振興機構「砂糖類・でん粉情報 2022.5」）。小麦の政府売渡価格は、今年 4 月に 14 年ぶりの高水準になり、小麦粉が再三値上り。魚肉練り製品メーカーのコスト増に追い打ちをかけています。

でん粉のメーカー仕入れ価格は 2021 年に大幅に上がり、2022 年も上昇がうかがえます（農畜産業振興機構「砂糖類・でん粉情報 2022.5」）。

## 3. 海上運賃の高騰



物流費については、国内運賃のみならず、スリミを輸入するコンテナ船の運賃が急上昇しています。米国西海岸発の運賃を例に挙げると、ロスアンゼルス発横浜着の運賃が 2022 年 3 月時点で、US\$ 2,910/40ft で、2 年前に比べ 2.4 倍、1 年前に比べ 1.3 倍に高騰（日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」）。原材料価格は、原料相場の上昇だけでなく、海上運賃高騰の影響を受けて

います。

#### 4. エネルギー価格などの高騰



原油の輸入価格は、各種メディアで報道されているとおり、大幅に上昇。当面、高値で推移すると大方の予想。原油関連の電気料金、食品包装資材、配送費の値上げでコスト負担が益々増えています。

魚肉練り製品の特徴は、原材料の輸入比率が高いことです。輸入比率の高い物ほど国際相場の急上昇、急激な円安の影響を直に受けるため、魚肉練り製品は歴史的なコスト高にみまわれています。今年春の値上げは、それ以前のコスト上昇を製品価格に転嫁したものの。しかし、その後も続いている急激なコスト上昇に追いつけないため、短期間で再値上げという異例の対応を検討せざるを得ません。是非ともご理解を賜りますようお願い申し上げます。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本かまぼこ協会 専務理事 奥野 勝

TEL (03)3851-1371 e-mail: info@nikkama.jp